



地域づくり
Close-up

**生まれ育った地域の文化財に
感心をもってもらうために
上毛町文化財ガイドクラブ**

大切な文化財を

次の世代へ継承するには

7年前、上毛町が誕生したことをきっかけに「上毛町文化と歴史を学ぶ会」を立ち上げ、主に文化財や歴史の勉強をし、総会や研修会、研修旅行などの活動を行っていました。会のメンバーほとんどが高齢者のため、今のうちに若い人を始め、地域の皆さんに「自分の住んでいる地域にはこんなすばらしい文化財がある」ということを知ってもらえるものを作りたいと思うようになりました。

「こんな小さな町に国指定文化財が4ヶ所もある所は日本でもめずらしいんですよ。それで何か私たちの手で見えるものを残したいと思うようになりました」と話す飯田さん。とかく文化財と言えば難しく考えてしまいがちなので、「もっと文化財や歴史に感心をもつて末永く語り継いでほしい」「大切な文化財の保護に繋がりたい」と意見が一致し、子ども

から大人まで誰にでも解りやすいガイドブックを作るために平成20年、「上毛町文化財ガイドブック作成委員会」を結成。地域づくり活動団体として認定され、現在15人で活動しています。

2年以上かけて全地区の調査を行いました。

ガイドブック作成にあたり、まず町内を南吉富・西吉富・唐原・友枝の4地区に分けました。地区在住のメンバーを中心に国・県・町指定文化財と各集落に点在する主要文化財の調査や写真の撮影、解説原稿の執筆、文化財の地区別分布図の作成などの作業を行いました。

実際に集落を回って地元の皆さんにお話しを聞いてみると、その地区に住んでいる方にしか解らない云われや、昔からの言い伝えなどがあり、懐かしそうに話していただけました。

文化財の中には山林や足元の悪い所など、現地へ行くのが困難な場所も

ブックを参考に文化財を見学できるように、4地区ごとに作成した地区分布図には地区を一巡できるようにコースを設定して記載しています。

文化財観光ガイドとして町を案内

現在は団体の名前も「上毛町文化財ガイドブック作成委員会」から「上毛町文化財ガイドクラブ」に変更し、ガイドの仕方などを勉強するために定期的に観光地を訪れて良い所を取り入れています。昨年、苅田町から150名の団体やNHKカルチャー文化センターの受講生など5団体が視察に訪れた際には、それぞれの観光ルートに合わせた文化財ガイドを作って説明しました。ガイドブックが完成したことにより、これからはこのガイドブックを活用して町をPRしていきます。

また、今回はページ数に制限があり、調査したすべてを網羅することができなかつたため、今後更に研究し、第2弾、第3弾の発行に向けて補正修正を行っていく予定です。

町の誕生までのあゆみや遺跡などを年代順に解説しています

ガイドブックには町の文化財の歴史についても詳しく紹介しています。「上毛町誕生までのあゆみ」では原始・現代まで各時代における上毛町の代表的な文化財を紹介し、日本の歴史の中における上毛町誕生の足跡を知ることができます。

「テーマエリア解説」では縄文時代、古墳時代における遺跡について紹介しています。戦国時代に数多く造られた山城については上毛町だけでなく豊前市、中津市周辺地域についても分かりやすく説明しています。松尾山修験道遺跡や宇島鉄道についてもその歴史についてわかりやすく写真などで説明しています。また、ガイド

©「こうげの文化財」ガイドブックは大平支所にて1冊500円で販売しています。